

原発〇にむかって

ゼロ

2013年3月21日 No.45

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel：03-5978-2741 fax：03-5978-2865 mail：sien@tokyominiren.gr.jp

3.11 震災復興・原発ゼロをめざす健生会昼休み集会



東日本大震災からちょうど2年目にあたる3月11日、「震災復興・原発ゼロをめざす健生会昼休み集会」が立川相互病院玄関前で開催され、職員や友の会の会員、患者さんなどおよそ150名が参加しました。

冒頭、震災で亡くなられた犠牲者をしのんで、全員で黙とう。2年前、当時は医学生として支援にかけつけた唐沢知行医師は、1年目研修医となっただけであらためて当時の衝撃を振り返り「原発を被害者の目線でみていこう」とよびかけました。同じく1年目研修医の吉村敏宏医師は、夏の原水爆禁止世界大会に参加した経験ともあわせ、「核兵器の廃絶と原発をなくすことは同一の課題だ」と訴え、医療支援にでかけた理学療法士の中山由識さんも、現地での活動を報告し、1日も早い復興への願いを語りました。

福島出身の医療SW森竹のぞみさんは「自分が生まれ育ち、遊んでいた川や田んぼが汚染されていると思うと本当につらい。姉はいまも福島で幼い子どもを育てながら不安な思いでいる」と涙で声をつまらせて発言。

立川相互病院の草島健二院長からは、福島県双葉町から避難している住民の甲状腺検診を実施した報告もふくめ、この問題に全力でとりくんでいこうとの決意が語られました。

昼休みの30分間でしたが、労組や健生会グループの各法人が共催で病院門前集会を開催するのは数年ぶりのことで、画期的なとりくみとなりました。このほか、3・10の集会には三多摩健康友の会の会員さんを中心に220名以上が参加。健生会オリジナルで作成した「NO NUKES」ワッペンもデザインがかわいいと女性職員から好評でした。

(健生会 法人社保組織部 岡崎いづみ)



足立区でも3・9パレード開催 ～さよなら原発 足立3・9パレード～

3月9日(土)、足立区の西新井さかえ公園(西新井栄町)にて区民らによる「さようなら原発足立3・9パレード」が開催され、約400人が参加しました。

東都協議会からも職員・友の会員など13人が参加しました。

